

株式会社 **アイチ** コーポレーション
アイチメンテナンスニュース

高所作業車の伸ワイヤ錆点検、ブーム内堆積物除去の件

長期間使用された高所作業車において、伸ワイヤの切断によりブームが急降下し、搭乗者が負傷する事故が発生いたしました。

ブーム内に堆積した異物(水分を含んだ土砂やゴミ)の影響で伸ワイヤが錆びた状態で、点検が不十分なまま使用を継続したことが、切断の原因です。

お客様におかれましては、修理・点検等の際に、伸ワイヤの錆点検、ブーム内の異物除去を必ず行っていただけますよう、お願い申し上げます。

記

1. 対象機種

直進4段ブーム式高所作業車の以下機種(※)

トラックマウント式: SK200、SK210、SK22A、SK240、SK260、SK27A、SH200

自走式: SP250、SP251、SP280、SP300、SP350

※ 上記以外の高所作業車においても、伸縮構造にワイヤを用いる直進3段、4段ブームの全てで、伸縮ワイヤの点検は重要項目です。

2. 点検項目

特定自主検査での点検時において、必ず以下を行ってください。(図2参照)

- ① 伸ワイヤ端部の錆点検
- ② 各ブーム後端内部の清掃(異物除去)

3. 実施方法

① 第4ブーム伸ワイヤ端部に錆が発生していないことを点検してください

- ・ワイヤ端部がパイプ内に入り込んでいて目視できない機種は、ファイバースコープ等を用いてワイヤ端部を確認し、錆がある場合は、パイプを外して点検を行ってください
- ・錆がワイヤロープの内部にまで浸透している場合は、ワイヤを交換してください
- ・伸縮ワイヤは、5年または6000時間経過で交換を推奨しています

② ブームテールカバーを取外し、第2ブーム後端部の堆積物を除去してください

※ 詳細は別紙の実施例をご参照ください

ブーム後端部カバーを開ける

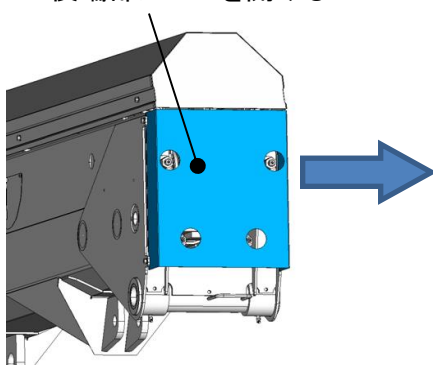


図1 ブーム後端

各ブーム後端下面の堆積物を除去する

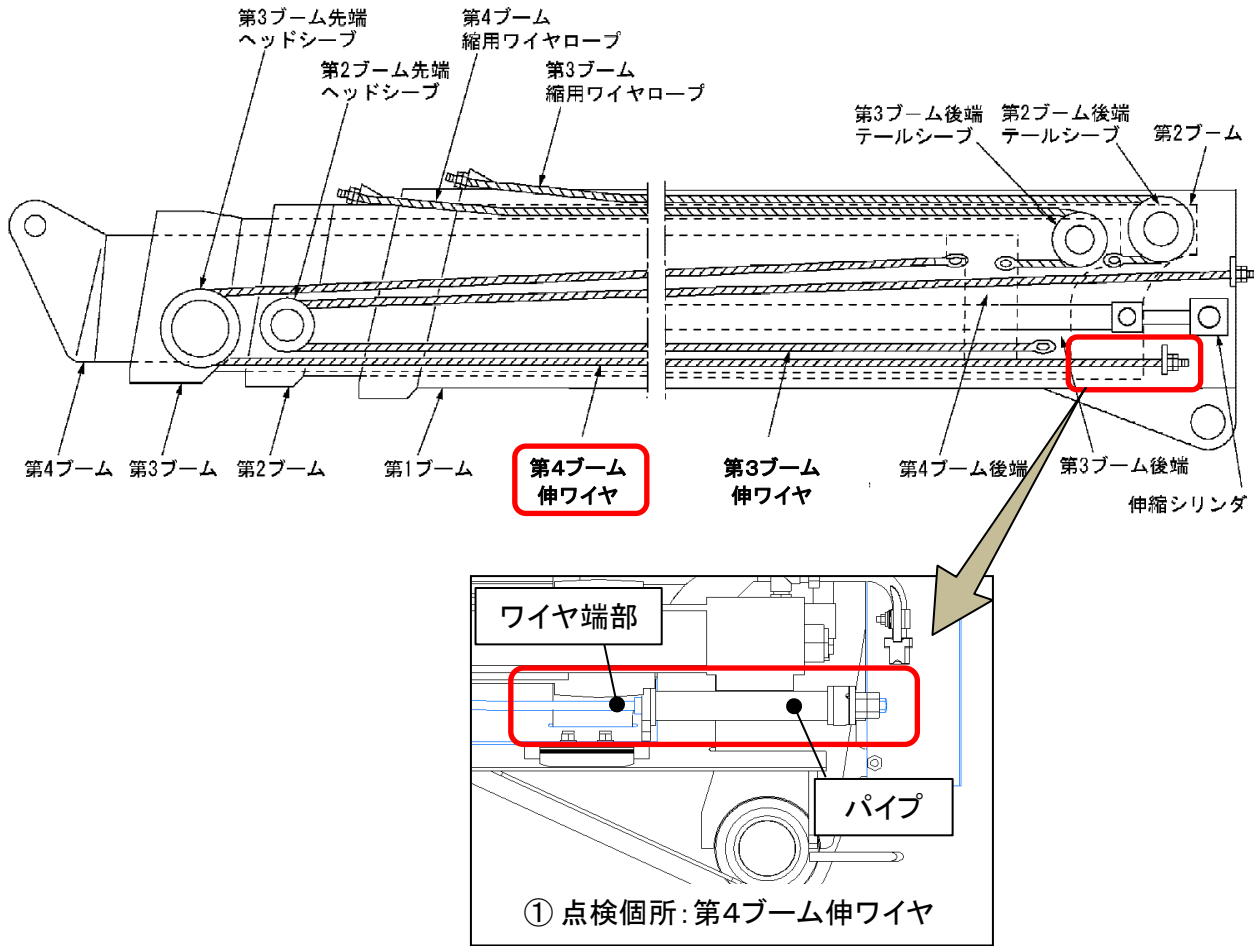


伸ワイヤ端部の錆点検(パイプ内を含む)

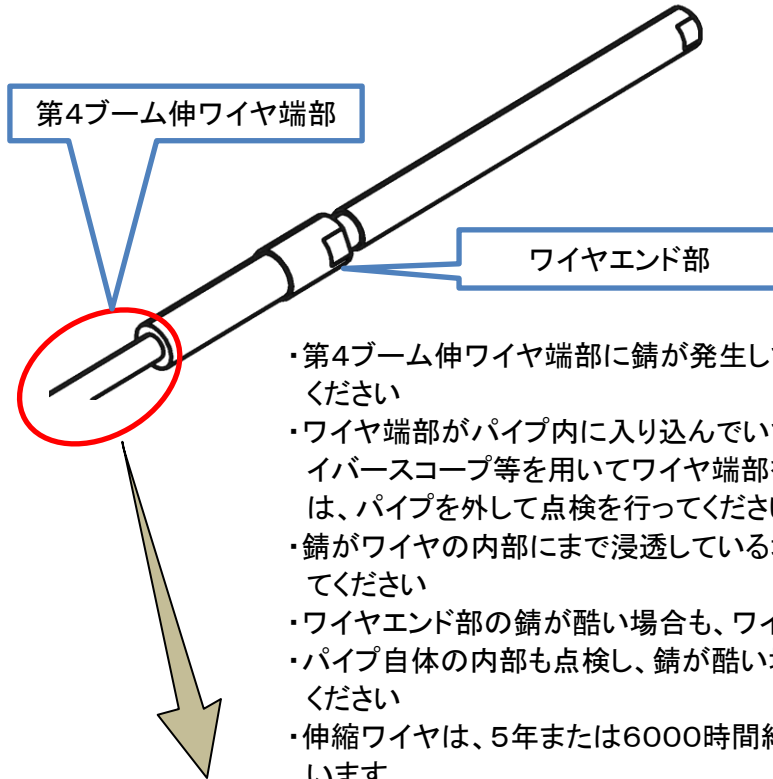
図2 ブーム後端内部

伸ワイヤ錆点検、ブーム内堆積物除去 点検実施例

本紙は、SK22AおよびSK27A型高所作業車における第4ブーム伸ワイヤの点検実施例を示しています



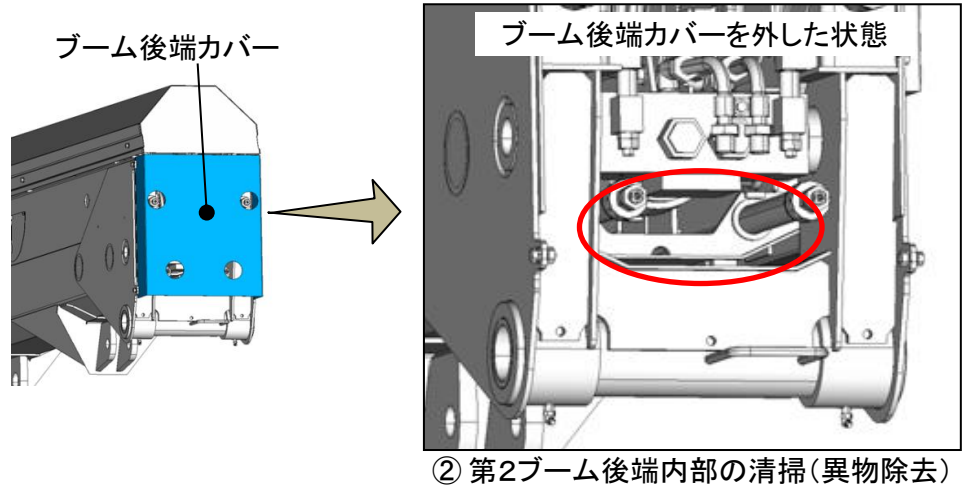
① 第4ブーム伸ワイヤ端部に錆が発生していないことを点検してください



- ・第4ブーム伸ワイヤ端部に錆が発生していないことを点検してください
- ・ワイヤ端部がパイプ内に入り込んでいて見えない部分は、ファイバースコープ等を用いてワイヤ端部を確認し、錆がある場合は、パイプを外して点検を行ってください
- ・錆がワイヤの内部にまで浸透している場合は、ワイヤを交換してください
- ・ワイヤエンド部の錆が酷い場合も、ワイヤを交換してください
- ・パイプ自体の内部も点検し、錆が酷い場合はパイプを交換してください
- ・伸縮ワイヤは、5年または6000時間経過で交換を推奨しています



錆がワイヤの内部にまで浸透している場合は、ワイヤを交換してください



② In the retracted state, remove the boom tail cover and remove the accumulation of debris from the rear end of the 2nd boom.

